

公益信託高知市まちづくりファンドニュース

# まちファン

11号

2008年11月10日



## 今日のまちづくりの動向

2000年4月1日に地方自治法を主とした

地方分権一括法が施行された。

この主な目的は、住民にとって身近な行政は、

できる限り地方が行うこととし、

国が地方公共団体の自主性と自立性を

十分に確保することとされている。

まちづくりのハード整備の基本である「都市計画法」も、

たびたびの改正が行われた。

今、また地球環境問題・人口減少・超高齢化等の

社会情勢の変化に対応して、

これまでの右肩上がりの施策から

集約型都市構造への転換など、

大きく考え方が変わろうとしている。

この動向を注視しなければならないが、

「まちづくりの基本は市民あつてのまち」。

自立したまちにしていくには、どうしたらよいのか？

法が変わるから変えるのではではなく、

まちづくりの根底にあるものは変わらないと思う。

### 目次

#### 2008年度 公益信託 高知市まちづくりファンド 公開審査会

##### 「まちづくり一歩前へ」

公開審査会の流れ／結果表 2

プレゼンテーション 2

##### 「まちづくり大きな一歩(ソフトからハードへ)」コース

公開審査会の流れ／結果表 5

プレゼンテーション 5

シンポジウム・寄付 6

公開審査会を終えて 7

運営委員の紹介 7

#### 2007年度 公益信託 高知市まちづくりファンド 最終発表会・中間発表会

最終発表会・中間発表会の流れ 8

プレゼンテーション

「まちづくりはじめの一歩」コース 8

「まちづくり一歩前へ」コース 9

「まちづくり大きな一歩(ソフトからハードへ)」コース 11

最終発表会・中間発表会を終えて 11

公益信託「高知市まちづくりファンド」とは／今後の予定 12

**公開審査会の流れ** 2008年8月3日(日)開催の公益信託「高知市まちづくりファンド2008年度事業 公開審査会」には、応募団体、一般合わせて約80名が参加しました。

## A 「まちづくりはじめの一歩」コース

● 応募なし

## B 「まちづくり一歩前へ」コース

### 1 プレゼンテーション



各応募団体が事業内容を模造紙1枚に記載し、3分以内でプレゼンテーションを行った後、3分以内で質疑応答

### 2 一次判断



各運営委員が各応募事業について(a)、(b)、(c)の3段階の判断をする  
※(a)、(b)、(c)については下表参照

### 3 質疑



一次判断で(b)、(c)が多い事業への質疑応答

### 4 最終判断 助成事業・金額の決定



各運営委員が、助成対象として推薦する事業を選ぶ。結果、過半数の推薦を得た事業が助成先に決定

### 「まちづくり一歩前へ」コース結果表 (助成先8団体)

グループ名	一次判断			最終判断	
	(a) 活動企画内容を支持し、今回のサポート助成が必要だと考える	(b) 活動内容についてもう少し話を聞き、今回のサポート助成が必要か判断したい	(c) 社会的に意義がある活し、動だが、サポートの助成趣旨にはなじみにくいと考える	今回の助成対象として推薦する	申請額(万円) / 助成額(万円)
1 団塊バンド“サイコ”	■■■■	■■■■■■		●●●●●●●●	30 / 30
2 土佐の高知のスチールパンズ	■■■■	■■■■■■		●●●●	30 / -
3 わくわくワークるんだ商店街実行委員会	■■■■■■■■	■■		●●●●●●●●●●	30 / 30
4 船岡団地花いっぱい会	■■■■	■■■■■■■■		●●●●●●●●	12.9 / 12.9
5 あったか高知花いっぱい会	■■■	■■■■■■	■	●●●●	30 / -
6 高知あいあいネット	■	■■■	■■■■■■	●●	30 / -
7 大津地区地域リハビリテーション応援団	■■■■■■■■	■		●●●●●●●●●●	30 / 30
8 こうちパパ楽会	■■■	■■■■■■		●●●●●●●●	23.8 / 23.8
9 高知女子大学フォトモザイクプロジェクト実行委員会	■■■	■■■■■■	■	●●●●●●●●	30 / 30
10 高知県フェニックス親の会	■■■■	■■■■■■		●●●●●●●●●●	30 / 30
11 NPO法人 高知環境文化21		■■■■■■	■■■	●●●●	30 / -
12 RinK	■	■■■■■■■■		●●●●●●●●●●	9.3 / 9.3
助成額合計					196

#### 審査会



**活動テーマ** フルバンドのサウンドで市民の中に文化の香りを～

#### GROUP 1 団塊バンド“サイコ”

2007年11月開催の「団塊祭り」に出演したのが初ライブ。演奏活動の柱は2つで、まず1つめは施設訪問。音楽は、心の癒やし、心の栄養と言われるとおり、音楽療法を行いたい。2つめは各種イベント。年間を通して企画しているが、まずは9月、高知県民文化ホールにて、さわやか財団主催のフォーラムに出演する。高知城をステージに、他団体とのコラボレーションによる「まつり」を開催することが1、2年後の目標。

#### 審査会



**活動テーマ** 高知を守る音楽団

#### GROUP 2 土佐の高知のスチールパンズ

近く起こると言われている南海大地震に向けて、災害に強い、壊れない、安全なまちづくりをめざし、「スチールパン」という楽器を紹介しながら、防災の講習会や勉強会で知識を深めてもらう。また、震災を体験したことのない若い世代が関心をもつことが大切で、いざという時に高知を守るような若者の団体をつくりたい。音楽は言葉を超えて心をつなぐ。現在、公民館、小学校、地元の旭納涼祭などで活動をしている。



### 活動テーマ わくわくワークるんだ商店街

#### GROUP 3 わくわくワークるんだ商店街実行委員会

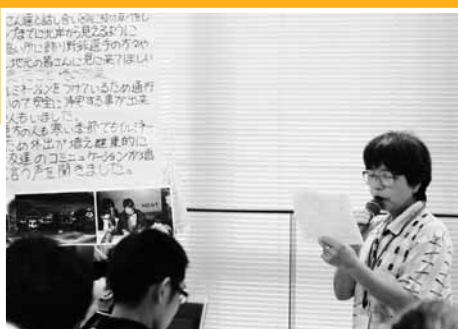
子どもたちに商店街を中心とした職業、商いを体験してもらい、マナーや働くこと、コミュニケーションといった社会性を身に付けてもらう。今回は定員150名の枠に約470名の応募があり、商店街の意識の変化が生まれた。新たな試みとして、製造業が少なく、物販の多い、他の商店街との連携も協議中。また、参加者からのアンケート結果を基に、果物屋、パン屋、スーパーマーケット、八百屋、消防団などの新しい業種も検討している。



### 活動テーマ 健全者と障害者がふれあういきいきまちづくり

#### GROUP 4 船岡団地花いっぱい会

花や野菜作り、交流会を通して、障害者や高齢者の引きこもりを防いでいる。県が水道を設置してくれてからは、水掛けをする時など、みんなと触れ合うことが多くなった。人数も揃ってきたので、今後は団地祭にも出展し、私たちの活動を地域にアピールしていきたい。また、少しでも引きこもりを無くしていくことに力を入れていきたいので、近くにできた「ぼかぼか温泉」に、みんなと一緒に出掛けて交流を深めたいと思う。



### 活動テーマ 花と光で運動公園周辺をより快適に、高知の新名所に

#### GROUP 5 あったか高知花いっぱい会

LEDの線を切らないよう木の枝を切るのが大変だが、高知大学の男子学生4、5人も協力してくれる予定。11月頃、オリックスのキャンプがあるので、川の北岸からも見えるようイルミネーションを高く飾りたい。この事業に取り組んで良かったのは、明るいので通行人が安心できること。1週間程タイマーが故障した時は、「電気がついてなくて淋しい」という声も聞いた。また、寒い季節でも光を見ながら散歩する人が増えて良かった。



### 活動テーマ 虐待をしてしまった親への回復プログラム「MY TREEペアレンツ・プログラム」

#### GROUP 6 高知あいあいネット

虐待をする親たちへの対策「MY TREEペアレンツ・プログラム」の導入に向けて3年、やっと高知で実施の見通しがついた。子どもたちが安心して家庭へ戻れるよう、16回のセッションで、わが子を殺してしまった人、親権を取られてしまった人などを対象とした回復プログラムを毎週行っていく。すでに実施している大阪、三重では、約250人がこのプログラムを卒業しており、その後、誰ひとり子どもに手を挙げていないという実績がある。



### 活動テーマ 地域リハビリテーションサポーター養成講座

#### GROUP 7 大津地区地域リハビリテーション応援団

地域リハビリテーションサポーター、3級ホームヘルパー、認知症サポーター、救急救命修了証書習得者を養成。地域に多く輩出することで、誰にでも優しく接することのできる人を増やし、誰もが住みやすいまちづくりをめざす。卒業生は「サンキュー会」に会員登録。これまで107名のサポーターが生まれ、いきいき百歳体操、大津の文化祭、はじめの一歩運動など、体の弱い人たちのサポートをしている。この3年で賛同団体も増えてきた。



**活動テーマ** 父親が主体となる子育てイベントを通じての親子・地域の絆づくり

**GROUP 8** こうちパパ楽会

父親の子育てサークル。子育てに関心のある人たちと集って楽しい思い出づくりをする。夏のキャンプ、畑、時には勉強会。活動をしていて、遊ぶことの大切さを実感している。最近では、いじめ問題についても考えるようになった。今後は、企業の人や高齢者とも知り合いになって、高知の子育て応援団をつくりたい。2～3年後には、ネットワークを結んで、それぞれがやってもらいたいことを提案し、皆と力を出し合って実現していきたい。

団体公開審査会



**活動テーマ** 華のあるまち・高知～フォトモザイク知っちゅう?～

**GROUP 9** 高知女子大学フォトモザイクプロジェクト実行委員会

フォトモザイクは何枚もの写真を組み合わせて1枚の絵を作る美術の手法。花の写真を使った作品で高知のまちを華やかにしたい。①商店街の人やまちを訪れた人と作品づくりや展示作業の時間を共有し、つながる、②商店街に作品を展示することで、まちがにぎわう、③高知のシンボルを題材にすることで、住民や県外人が高知の魅力を再発見する、などが期待される効果。写真は県民から広く募集、作品は大学生と高校生で作っていく。



**活動テーマ** 障がい児(者)の訓練会の事を地域に広めよう

**GROUP 10** 高知県フェニックス親の会

高知県心理リハビリテーション研究会との共催で、心身に障がいのある子どもたちの動作の改善や生活機能の向上、心理的適応を図るための療育訓練を行っている。障がい児・者が地域で見守られながら、安心して暮らせるまちづくりをめざし、まずは関わりの深い、地域の作業所や施設の人たちにも活動に参加してもらうことで理解を深めてもらい、日々の仕事、リハビリや療育、そして、教育に生かしてほしいと願っている。



**活動テーマ** 「はりまや通り」を高知を代表する新感覚の通りにしよう!

**GROUP 11** NPO法人 高知環境文化21

昨年度は、「はりまや通り」の愛称を広く知ってもらうために「はりまや漫画フェスタ」を開催。今年度は、①歩いて楽しい、②もてなしの心のある、③愛着や誇りのもてる通りにするために、地元の人と周辺を歩いて資源の発掘や整理をする学習会、そして、通りの清掃を中心に取り組む。行政、企業、市民による新しい公の実践の場というようなくりで、持続可能な体制づくりをめざしながら、国道標識への愛称表記を引き続き依頼したい。



**活動テーマ** 高知の同期100人出来るかな?  
～若手社会人をリンクしよう～

**GROUP 12** RinK

まず、若者の何かをやりたいという芽を育てたい。そのネットワークづくりとして、9～11月は、新社会人や若手社会人、各企業への広報活動を行う。また、12～5月にはスキルアップや、コミュニティづくりのためのセミナー、6～7月には若者とまちをつなぐ座談会を開催し、同世代の出会いの場をつくりたい。若者がまちに目を向け、最終的には、新しいコラボレーションが生まれることをめざしている。

# C

## 「まちづくり大きな一歩(ソフトからハードへ)」コース

### 1 プレゼンテーション



応募団体が事業内容を模造紙1枚に記載し、5分以内でプレゼンテーションを行った後、5分以内で質疑応答

### 2 一次判断



各運営委員が応募事業について(a)、(b)、(c)3段階の判断をする  
※(a)、(b)、(c)については下表参照

### 3 質疑



一次判断で示された(b)について質疑応答

### 4 第1次審査通過事業の決定



各運営委員が助成対象として推薦するかどうかを判断する。運営委員より過半数の推薦を得て、第1次審査通過となり、計画具体化費用として10万円を限度に助成決定

### 「まちづくり大きな一歩(ソフトからハードへ)」コース結果表

グループ名	一次判断			第1次審査通過事業の決定		
	(a) 活動企画内容を支持し、今回のサポート助成が必要だと考える	(b) 活動内容についてもう少し話を聞き、今回のサポート助成が必要か判断したい	(c) 社会的に意義がある活動だが、サポートの助成趣旨にはなじみにくいと考える	第2次審査等の的確性(第2次審査の対象として推薦する)	申請額(万円)	10万円以内の計画具体化費用を受ける権利を獲得
1 本宮川の水辺と蛍の会	■■■■■	■■■■■		●●●●●●●●●●	300	○

今後は、第2次審査書類提出(12月15日)、現地調査・第2次公開審査会(1月下旬)を経て、助成決定の可否が決まります。

## 活動テーマ 夢をカタチに! ホタルが飛び、魚も生息できる本宮川をめざして!

### GROUP 1 本宮川の水辺と蛍の会



本宮川は鏡川から取水し、旭駅の裏手まで続く約2キロの農業用水。地域には蛍橋という名の電停があり、その名にふさわしい風景を取り戻すため、高知サティで年1回、蛍祭りを開催。今年は地域の小学生を中心に約700名の参加があり、旭地区の祭りとして定着したように感じる。また、蛍の幼虫を飼育し、サナギになる前の2月に川へ放流している。現在は旭小学校の前と高知サティの裏手の2カ所で蛍の生育が確認されている。潤いのある水辺づくりとして、花菖蒲の植栽にも取り組んでいる。

問題は、大雨注意報が発令されると上流の水門が閉じられるため、下流に水が来ない状況が年間約30日あり、魚が死ぬこと。この状況を打開すべく、高知市の担当各課と長年にわたって討議したが進展が見られない。そこでポンプを設置し、ある一定の水量を確保することで、魚の住める川を取り戻したいとファンに応募した。

Q ポンプを設置する場所は?

A 本来は、蛍の生息地である旭小学校付近と高知サティ付近の2カ所にポンプを設置したいが、予算のこともあるので、今回はどちらか1カ所への設置を計画している。旭小学校付近に設置すると、川下の蛍橋の電停付近の川床が高くなっていて、その下流に水が流れない。高知サティ付近への設置が、現在は有力。

Q ポンプの管理は誰がするのか。

A 当団体で管理していきたいと考えている。

Q 近くに小学校があるが、安全は確保できるのか。

A 子どもたちが入らないような工夫をするなど、設計の中で配慮していきたい。

Q 整備後の地域交流として、どのような活動を考えているか?

A 子どもたちや高齢者とともに、水辺や魚を通じた交流などを企画したい。水質を良くしようという活動に発展することも考えられる。また、自主防災組織の訓練や、震災時の給水施設としても利用できるような設計を検討したい。

#### ● 卯月運営委員長

この場所にポンプがいる必要性を、地域の中で理解してもらいながら、二次審査に向けて進めてほしい。この事業が、その後の地域づくりにつながっていくように期待している。

#### ● 堀運営委員

水害に強い町が整備される中、自然環境とミスマッチを起こした水路、蛍をキーワードに水辺を再生させる活動だ。高知市に張り巡らされた農業用水路が汚れた生活排水路に変わっている現在、清い水路再生のきっかけになることを願っている。

## Q&A

## VOICE

予告

# まちづくりシンポジウム 市民のチカラ

～市民によるまちづくり活動の広がり～

公益信託「高知市まちづくりファンド」が  
果たしてきた役割等もふまえ、  
市民によるまちづくり活動の広がり  
の現状と今後の課題について  
整理することを目的としたシンポジウムです。

日時 2009年2月12日(木) 13:30～15:40

内容

ミニ・トーク 「市民によるまちづくりの魅力」(仮題)

語り手 卯月盛夫さん (早稲田大学教授、高知市まちづくりファンド運営委員長)

パネル・トーク 「市民によるまちづくり活動の成果と課題」(仮題)

パネリスト 岡崎誠也 高知市長  
「高知市まちづくりファンド」の助成先団体より3名を予定

コーディネーター 卯月盛夫さん

場所 高知市文化プラザ「かるぼーと」小ホール

参加費 無料

主催 高知市

共催 株式会社四国銀行

お問い合わせ先 高知市市民活動サポートセンター  
TEL 088-820-1540 【受付時間】月～金 10:00～21:00、土 10:00～18:00

## 少額でもOK! まちづくりファンドに寄付をお願いします。

まちづくりファンドは、市民のまちづくり活動を応援するファンド。まちづくり活動に直接、関わることはできなくても、「寄付」という形で支援することができます。これまで企業や市民、有志の方々、そして、助成先団体からもファンドに寄付をしていただきました。

皆さまからのあたたかいご支援をお待ちしています。

お問い合わせ先 株式会社四国銀行 お客さまサポート部 信託担当  
TEL:088-871-2178 【受付時間】月～金 9:00～17:00



# 二〇〇八年度ソフトコース 公開審査会を終えて

まちづくりの幅が非常に広がってききましたが、人と人との関係づくりも含め、皆さんは「将来のまちなり方、ビジョン」をもつことが大切です。そして、ビジョンの実現のために手段・手法が必要です。目的と手段を混同してはいけません。目的・目標に至るプロセスと手段にこそ、市民ならではの発想とアイデアが必要です。

例えば、「団塊バンド「サイコ」」。趣味の域を越えなければ助成はおりません。人の気持ちを和やかにしたり、やる気を起こさせたりするために、音楽という手段を使って、まちの人を、まちの姿を変えていきたいという提案。これまで、まちづくりと音楽の結びつきはなかったけれども、そういう提案があつて初めて、高知ならではの、市民ならではの、おもしろい手法と成り得るわけですね。

「こうちパパ楽会」、「高知女子大学フォトモザイクプロジェクト実

行委員会」、「Rink」などの活動は、必ずしもこれまで高知のまちづくりの中心を担ってきたわけではないけれど、父親、学生、新社会人の参画で、新しい領域の道が開かれること、まちが元気になることを期待しています。

申請書の内容が未熟な団体もありましたが、プレゼンテーションや質疑応答のやりとりの中で皆さんの人間性が伺えました。「この人に賭けてみよう」という期待や励ましの気持ちを込めて審査していますので、この応援の気持ちを汲み取って、今後も頑張っていたきたいと思います。



## 運営委員の紹介



運営委員長  
卯月 盛夫  
(早稲田大学教授)

Aコースの応募がなかったのは残念でした。Bコースは結果から見るとちょっと厳しかったかもしれませんが、どのようなまちづくりの成果イメージを持って応募したのか、もう一度考えて欲しいと思いました。Cコースは行政と市民の関係を考える上で重要な問題提起でした。第2次審査に向けての活動に大きな期待をしています。



副運営委員長  
玖波井 加代子  
(ひと&カラーコーディネータ)

2回目、3回目と応募し続けることの意味と難しさを感じました。「どこに焦点を絞りパワーアップしていくか」が、うまく伝わるよう企画しなければならぬので大変でしょう。しかし、それをクリアすることで組織のスキルアップになるし、広報にもつながります。大いにチャレンジしていただきたいです。



運営委員  
産田 節雄  
(元高知市都市整備部長)

まちづくりには、音楽・絵・自然・花・お祭り等いろいろな切り口があり、その切り口を目標に皆さんが活動されていることに感激しました。高知のまちづくりの新たな方向がみえるといいですね。



運営委員  
四宮 成晴  
(四宮計画事務所)

まちづくりへの熱い思いが飛び交う審査会場。それぞれのやり方でそれぞれの願いをもって、「まちづくり」に真摯に関わる団体たち。みなぎる気持ちに圧倒されながらも、皆さんの思いがどう地域に響くのか！を自分に課し、揺さぶられる心をなんとか支えながらの選考(審査ではなく、選考という気持ち)でした。



運営委員  
玉里 恵美子  
(高知女子大学准教授)

公開審査会のプレゼンテーションも、回を追うごとにレベルが高くなり、皆さんの熱意が伝わってきました。しかし、活動内容へ無理な「味付け」をしてしまうと、ファンド獲得だけを目的としたプレゼンになってしまいます。伸び伸びとした、活きのいい発表を楽しみにしています。



運営委員  
半田 雅典  
(高知県ボランティア・NPOセンター)

緊張感ある公開審査会も今年で6回目。どの団体のプレゼンも、「地域の課題解決をしたい!」「地域をもっと元気にしたい!」という情熱を感じるものでした。助成が決定した団体は、この助成金を今回、申請した事業に活かしつつ、持続的にまちづくりをすすめていけるよう、「組織を活かす資金」にもしてください。



運営委員  
堀 洋子  
(社)高知県建築士会)

ファンドの公開審査会も6年目に入り、今一度原点に帰り、顔と顔がふれ合うまちづくりの視点で参加しました。応募された団体は、地域に根ざした、広域に不特定多数、弱者の人たちへのサポート活動など、それぞれに人と人を結ぶ活動をされていて、回を追うごとに多様に広がっています。人と人が笑顔になり、笑顔があふれるまちになればと思います。



運営委員  
増田 和剛  
(高知中・高等学校教諭)

地域を一つのキャンパスに例えると、まちづくりは一つの絵画作品と言えます。キャンパスに描く絵は、純粋に描きたいという気持ちから始まり、描く工程の中で、色や形が変わる人の動きが影響し合いながら完成に近づいていきます。このプロセスこそがまちづくりの原点ではないかと思えます。



運営委員  
宮地 貴嗣  
(ラ・ヴィータ 宮地電機㈱)

運営委員として参加させていただき、こんなにたくさんの団体がまちづくりのために活動されていることを知りました。公よりも自分の都合を優先させる方が増えている中、時間と労力を使い、高知市のために活動されている皆さんに敬意を表します。市民が力をあわせて良いまちを創っていくという動きが広まることを期待しています。



運営委員  
森本 智香  
(えほんの店「ココロ・サン」)

ファンドの審査は、最初とても緊張します。助成団体の新しいチャレンジのプレゼンを聞いているうちに、「緊張」がドキドキワクワクに変わってきます。生活者としての足元の問題への取り組みに、ここから高知が変わっていくんだという、確かな手ごたえを感じます。

2007年度

# 最終発表会・中間発表会

## ■ 最終発表会・中間発表会の流れ

2008年8月2日(土)開催の公益信託「高知市まちづくりファンド2007年度事業最終発表会・中間発表会」には、応募団体、一般合わせて約80名が参加しました。



### 1 プレゼンテーション

助成先団体が事業の報告を模造紙1枚にまとめ、発表  
■ソフトコース: 3分間  
■ハードコース: 5分間



### 2 意見交流

運営委員や参加者からの感想、また質疑に対し、助成先団体が応答

## 卒業証書授与



御畳瀬ひもの祭り実行委員会



高知発達障害等親の会「KOSEI」

市民団体が継続して行うまちづくり活動を支援する「まちづくり一歩前へ」コースは、同一の事業内容に対して3回まで助成を受けることができます。「御畳瀬ひもの祭り実行委員会」と「高知発達障害等親の会『KOSEI』」は、2005～2007年度と連続助成を受け、今年、公益信託高知市まちづくりファンドを卒業しました。

今後の更なるご活躍を期待しています。

## 最終発表会

### A 「まちづくりはじめの一歩」コース・プレゼンテーション



**活動テーマ**  
働く親と子の子育て支援  
**GROUP. 1**  
わすれんぼドリー

働く親と子のサークルということもあり、イベントは2カ月に1度くらいのペースで開催した。入園前の子どもたちが顔見知りになることで、保育園に安心して通えるようにと、3月にお花見ピクニックを開催。6月は、地元の折り紙の名人に来てもらって、みんなで折り紙を楽しんだ。7月には、伊方発電所に36名ほどで勉強に出掛けた。活動を通じて、各家庭とのつながりも生まれ、お互いに相談できるような関係も築けた。この活動を後に伝え、継続していきたい。

### VOICE

- 父親の参加も増えたとのこと。続けるといいですね。
- 本当に良いきっかけが生まれたんだと思います。ぜひ、何らかの形で続けてください。
- いつもは忙しいお父さん、お母さんと子どもたちが一緒に過ごせる大切な時間。楽しいイベント、いっぱいできるといいですね。



**活動テーマ**  
高知市の山間部ルーツを守ろう・生かそう・発信しよう  
**GROUP. 2**  
鏡を見つめる会

毎月1回、鏡地域に残る古い写真をメンバーが持ち寄り、パソコンに取り込む作業を行っている。貴重な資料なので、データベースと紙ベースでファイルを作成し、保存。写真10枚くらいを全紙サイズに引き伸ばして、写真パネルを作った。将来的にはミニ写真展のようなものを開いて、鏡地域の良さを見直してもらい、地域外にも発信していきたいと考えている。鏡地区が策定に取り掛かっているコミュニティ計画の中に、我々の取り組みを盛り込んでいきたいと考えている。

### VOICE

- 助成金申請をきっかけに貴重な写真のファイル作りができ、今後、それを活かしたまちづくりをどうされるか楽しみです。
- 鏡地区だけに限らず、どこの町でも1年たつと様子が変わってしまうので、このような活動を続けてほしい。



# B 「まちづくり一歩前へ」 コース ● プレゼンテーション ●

## 活動テーマ 御豊瀬地域の「お祭り」による活性化とまちづくり

### GROUP. 1 御豊瀬ひもの祭り実行委員会



第4回御豊瀬ひもの祭りを12月9日に開催した。御豊瀬が5年後、10年後に漁業の町として残っているかという、難しいのではないかと感じている。だが、決して諦めず、笑いながら進もう、悪あがきをしよう、と思っている。第5回御豊瀬ひもの祭りは11月30日に開催する。助成金も一切ないので、規模を縮小して取り組むしかないと考えている。助成金をもらってこれまで継続してこられたこと、そして、いろいろな繋がりが生まれたことに感謝している。

## VOICE

- 今後の“みませ”に、きらりと光るパワーを期待し、地元PRや活動にがんばってください。
- これまでの努力で、ひもの祭りはすっかり高知に根づいたものになったと思います。
- “決してあきらめずに笑顔で進む”って、まちづくりの上ですごく大切な信念ですね。同感です！

## 活動テーマ 地域リハビリテーション・サポーター養成講座

### GROUP. 2 大津地区地域リハビリテーション応援団



養成講座を経て、今年度は42名の地域リハビリテーションサポーターが育った。サポーターは現在、94歳から中学2年生まで幅広い年齢層の計107名で構成されている。応援団は、卒業生全員を把握し、地域でできることを探して卒業生にサポーター要請をし、地域の人たちを応援している。サポーターは毎週月曜日から土曜日まで大津の公民館や施設などで百歳体操のサポートをしたり、退院時の家の掃除・手伝いなどをしたりと、目に見える形で頑張っている。

## VOICE

- 地域に知らない人がいない活動になるといいですね。
- 中学生と共に地域生活を考えるところがすごい！
- 10年後が楽しみ。

## 活動テーマ わくわくワークるんだ商店街

### GROUP. 3 わくわくワークるんだ商店街実行委員会



今回は、公共団体、民間企業、大学、NPO、小学校と商店街が連携した実行委員会できり組んだ。参加者アンケートには、開催回数を増やして欲しいという意見も多く、満足度が高かった。新たなアプローチ方法を習得できたこと、消費者との交流をより深められたこと、商店街の若手を中心とした委員会を開催したことが、今回得られた効果。次回は、アンケート結果の反映に努めるとともに、他の商店街との連携、各組織の特色が活かせるような役割分担をして取り組みたい。

## VOICE

- ジュニアパイザーは、まだまだ可能性がありますね。
- 今後もがんばって継続を！お願いします。
- いい活動ですが、助成金を受けないで活動できる方法を考えましょう。

## 活動テーマ 高知で見つける“自然に優しい、自然な生き方”応援プロジェクト

### GROUP. 4 高知ナチュラルネットワーク



ナチュラルエコッキング、ナチュラルワークショップの情報を掲載した通信を毎月発行し、欲しいと要望のあった方に郵送した。無料配布したことで多くの人に手渡すことができ、この通信を読んだことがきっかけでお店を始めた主婦など、一歩踏み出す人が出てきてくれた。また、ワークショップなどの参加者に声をかけ、40名近いスタッフでナチュラルフェスタを開催することができた。このつながりを大事にして、高知でナチュラルなネットワークを広げていきたい。

## VOICE

- とっても楽しそう。ワークショップなど、行ってみたいと思いました。
- 人が多くなって楽しそうですね。
- 高知を元気にする活動ですね。今後も活動を継続してください。

## 活動テーマ “「はりまや通り」を高知を代表する新感覚の通りにしよう!”

### GROUP. 5 NPO法人 高知環境文化21



「はりまや通り」の愛称普及活動のもと、通りの周辺地域が連携していけるよう取り組んだ。愛称が普及していけば、やがて文化的、経済的な活動が蓄積され、ブランド化が始まり、その価値を享受することができる。街頭で行ったPR活動や、電車の車両を活用したはりまや漫画の展示、学習会などがマスコミに取り上げられ、愛称を普及させる目的はかなり達成できたのではないと思う。今後、理解を深めてもらえるよう取り組んでいきたい。

## VOICE

- なかなか難しい活動だと思いますが、コツコツ続けるしかないのかなと思います。あきらめないこと。
- 気軽に呼べる愛称づくりと、その普及、非常に重要なことですね。「はりまや橋」の映画上映に向けて、どんどん盛り上げてほしいです。

## 活動テーマ 祭りであつなく地球33番地の住民ネットワークづくり

### GROUP. 6 地域教育応援団 33フォーラム



昨年8月5日に「一文橋地蔵尊夏祭り」を40年ぶりに開催した。藪原さんを招いての勉強会は、地域の人があつなげるきっかけとなった。また、昭和小学校の協力でスタンプラリーを開催。子どもたちと地域をつなぎ、防犯や防災に強いまちづくりのきっかけになったと思う。今年は、地域の商店などの集まり「のれん33番地」が、地域新聞「地球三十三番地かわらばん」の中に広告を出してくれたこともあり、自主的に夏祭りを開催することができた。

## VOICE

- 40年ぶりの復活！すばらしい！
- 地域の人をかなり巻き込み、人と人とのつながりができていて、すごくうらやましい！
- “33”という数字を有効に使った地域づくり、楽しいですね。

## 活動テーマ ともに考えよう～あなたの周りの暴力～ 新しい一歩を踏み出すための自立支援と子ども達が安心して過ごせる為の支援

### GROUP. 7 高知あいあいネット



DVや児童虐待の被害者に対する支援を行っている。多くの方から生活用品、家電などの物品を提供して頂いた。「MY TREEペアレンツプログラム」は、虐待する親の苦しみを解放していく、自分らしく生きるためのプログラム。なかなか難しいところもあるが、今年11月から実施していく。コーディネーショントレーニングは、高齢者も障害者もみんなが楽しくスポーツに取り組めるトレーニング。その講習会を開催した。

## VOICE

- すごく深刻で早急な手助けが必要な方々を救う活動として、今後の継続的なアクションを応援しています。社会にももっと関心をもってほしいですね。
- 児童虐待は、今後ますます増えると思います。そんな時、地域でサポートできる環境づくりができるといいですね。

## 活動テーマ 子供達の個性、特性を地域社会に正しく理解してもらい地域社会に溶け込む運動

### GROUP. 8 高知発達障害等親の会「KOSEI」



6月は障害者雇用促進セミナーの報告会、会員の名刺と理解・啓発のためのパンフレットを配布した。7月には交流会や子どもを交えた防犯セミナーを開催。発達障害に対する適切な支援がどこでも受けられるように、また、症状が悪化した場合の支援の場も必要である。子どもの成長とともに課題も拡大しているように感じる。会員自ら活動し理解を拡げる、子どもの発達を促す、行政や医療機関への要望、ネットワークをつくって連携していきたいと考えている。

## VOICE

- お父さんのサークルとコラボするといいですね。
- 発達障害への理解は広がっていますが、まだまだこれからというところ。さまざまなハードルがあり大変でしょうが、しっかりと声をあげて理解・啓発を進めてください。とても意義ある活動だと思います。

## 活動テーマ 健常者と障害者がふれあういきいきまちづくり

### GROUP. 9 船岡団地花いっぱい会



2月は花壇の草引きや土づくりを行い、3月には高齢者や車椅子の人も交えて花見に出掛け交流した。4月には土づくりをし、野菜の種を蒔いた。5月、6月は花の植え替え、野菜の苗を植えた。触れ合いの場として、また環境美化の一環として役立っていると思う。県より地域花づくり奨励賞を頂いた。また、県にお願いして、水道を引いてもらうこともできた。今後は、船岡団地以外の人にも参加を呼びかけ、花の植え替えや野菜の収穫を一緒に楽しんでもらいたい。

## VOICE

- 健常者と障害者やお年寄りの方が触れ合いながら、まちを花いっぱいにする活動、素敵ですね。おいしい野菜の収穫祭も企画されると、なお楽しそうです。
- 地道な活動ですね。継続して頑張ってください。

## 活動テーマ 花と光で運動公園周辺をより快適に、高知の新名所に

### GROUP. 10 あったか高知花いっぱい会



鏡川保育園、大原町町内会、第六小学校と協力して、花の植え替えをした。寒い時や暑い時の作業は大変だったが、県から地域花づくり奨励賞を頂くことができた。3月と9月には、イルミネーション周辺の草刈りや枝切りをした。マスコミが我々の活動を取り上げてくれ、見に来てくれる人が多くなった。協賛企業や市民の方が募金・応援してくれた時は、本当に嬉しい。周辺に街灯がないため、イルミネーションを点灯することで、防犯にも役立っているのではないかなと思う。

## VOICE

- 県内から団体バスで見学とは、すごいですね。
- 花がいっぱいの町なみは、本当にきれいだと思います。イルミネーションについては、賛否の意見があるかと思いますが、さまざまな意見を参考に、いい方向を探ってください。

「まちづくり大きな一歩(ソフトからハードへ)」コース ● プレゼンテーション ●

活動  
テーマ

地域のネットワークの中心となる場をめざして  
—空店舗を利用した空間整備—

GROUP アテラーノ旭



整備が完了した箇所は、①木製の床材への張り替え②トイレ横の入口の拡張とドアの付け替え③トイレの段差を解消し、手すりを付け、洋式便器に付け替える④車椅子の人も利用しやすいように、スロープと手すりを設置⑤玄関前の階段への手すりの設置⑥玄関へのカーテン取り付け⑦店舗前の営業用に屋台を製作⑧商品を展示するスペースの整備等。7月18日に地元の人を招いてレセプションを開き、リニューアルオープンを祝った。整備できれいになった箇所を紹介するとともに、この1年間のアテラーノ旭の活動を分野ごと(アテラーノ農園、お店の活動、歌声のサークルなど)の担当者が報告し、「更に頑張っていこう」と決意表明した。その後、毎日

通っておしゃべりをしてくれる人や、車椅子で来てくれる人がいて、お年寄りは喜んでくれている様子だ。また、地元の人が殺風景だったトイレを工夫して素敵な空間にしたり、手芸用品をたくさん届けたりと協力してくれている。

今後は、当初の整備内容としてかかっていた屋台等の飾り付けを、地元の人たちに声をかけて実現したい。

中間発表や最終発表は、横のつながりをつくるのが最大の目的です。審査員は「つなぎ役」なんです。まちづくりの活動をしていると、輪が広がらないなど、行き詰まりがちですが、その中でも「子ども」や「緑」をテーマにした団体は、横のネットワークがつながりやすい、ということが調査で分かっています。両方とも危機感をもたなければならぬテーマであり、共感を得やすいテーマなんです。二〇〇七年度助成事業のソフトコース十二団体のうち、約三分の二がそのテーマに関連してい

いつもながら大変楽しい会でした。いろいろな運営上の工夫により、短時間で中身のある交流ができました。全てのグループに対し、「質問」と「感想」の二色にしぼって意見を出してもらおう手法はとても効果的です。他のまちでも似たようなことをやっていますが、高知は進んでいます。たくさんの方の応援メッセージがあり、大変良かったと思います。

二〇〇七年度  
ソフトコース最終発表会・  
ハードコース中間発表会を終えて

● 運営委員長 卯月盛夫 (早稲田大学教授)

ですが、そういう団体が連携していけると非常にいいですね。また、「子ども」と「緑」に「食」をプラスしていけば、更に素晴らしい活動になっていくと思います。

ハードコースの「アテラーノ旭」には、公共施設にはない温かみがあります。行政にはできなかった市民活動の成果とも言えますね。まちづくりファンドがなぜこのように普及しているのか、なぜ行政だけでまちづくりができないのかを分かりやすく提示してくれた貴重な事例ではないでしょうか。利用者や市民の声を聞きながら、三百万円という公共のお金を有効に使い、活動を発展していつてほしいと思います。



# ● 公益信託 「高知市まちづくりファンド」 とは ●

公益信託「高知市まちづくりファンド」は、「市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例」に基づき、まちづくり活動団体への助成を目的に、高知市が四国銀行に3,000万円を出捐（しゅつえん）して創設しました。助成先は公開審査会で決定し、透明性の確保とともに、市民同士の交流や、まちづくりの学びの場となることを目的としています。多くの人にまちづくりに関心をもってもらい、まちづくりに参加するきっかけとなるような運営を目指しています。

## 「まちづくりはじめの一歩」コース

まちづくりへの参加の第一歩を踏み出そうとしている市民団体、あるいは活動を始めているが、まだ定着していない市民団体の活動を支援します。

**助成金額** 定額5万円（活動事業費が5万円未満の場合は、全額助成）

**審査方法** 書類審査で助成先を決定します。  
助成が決定した団体は、公開審査会で活動内容の紹介をしていただきます。

## 「まちづくり一歩前へ」コース

市民団体が継続して行うまちづくり活動を支援しています。

**助成金額** 活動事業費の $\frac{3}{4}$ 以内で、上限30万円

**審査方法** 公開審査会において、活動の内容について発表をしていただき、公開審査で助成先を決定します。

お問い合わせ先：高知市市民活動サポートセンター TEL 088-820-1540

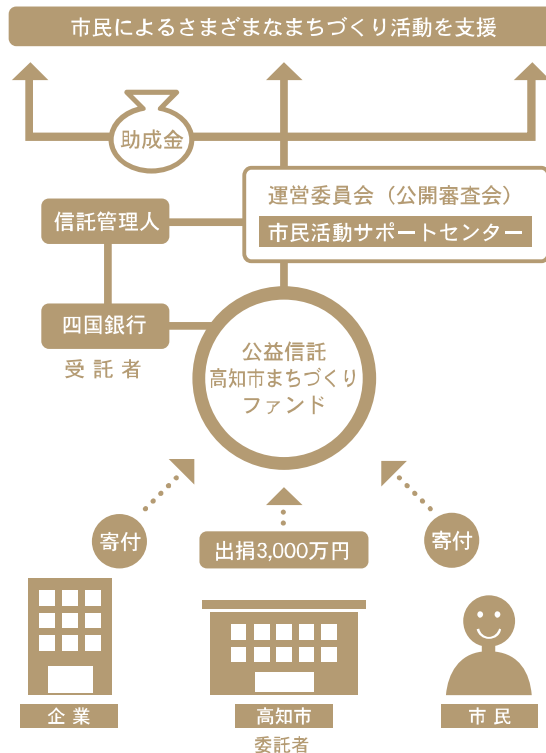
## 「まちづくり大きな一歩(ソフトからハードへ)」コース

高知市を住みよいまち、豊かな地域社会にしていこうと行うまちづくり整備事業を支援します。

**助成金額** 上限300万円（助成率100%）

**審査方法** 第1次公開審査会において、整備の内容について発表をしていただきます。審査通過団体に、計画を具体化するための費用として10万円を限度に助成し、現地調査後、第2次公開審査会において発表をしていただき、公開審査で1件程度、助成先を決定します。

お問い合わせ先：株式会社四国銀行 お客さまサポート部 信託担当 TEL 088-871-2178



### 四国銀行コメント

株式会社四国銀行  
お客さまサポート部 信託担当

四国銀行では、「高知市民の自主的なまちづくり活動を支援していく」という信託設定の趣旨に沿って助成事業を行います。受託者としてファンドの管理・運営を行うことにより、まちづくり活動の一端を担い、私たちみんなの大切な高知市をより住みやすいまち、豊かな地域社会にしていこうとのお手伝いができるよう努めていきます。

私たちもお手伝いします。

### 高知市市民活動サポートセンターコメント

当サポートセンターでは、まちづくりファンドの申請に関する相談や、公開審査会等の運営のお手伝いをしています。皆さまのまちづくりに対する想いを実現できるよう、支援していきたいと考えています。まちづくりファンドの申請に関すること、また、まちづくり活動や市民活動に関すること等、いつでもお気軽にご相談ください。

## まちづくりファンドは皆様がまちづくり活動を支援する仕組みです。

まちづくりファンドの創設にあたり、高知市から出捐（しゅつえん）された3,000万円は、毎年取り崩しながら助成していくことになります。少しでも永くまちづくりファンドが市民のまちづくり活動に生かされるように、多くの皆様のご寄付をお願い致します。

寄付に関するお問い合わせは、下記にご連絡ください。

株式会社 四国銀行  
お客さまサポート部 信託担当

〒780-8605 高知市南はりまや町1丁目1-1  
電話：088-871-2178（直通）

## 高知市市民活動サポートセンター

市民に利用していただき、市民活動の輪を広げようと、1999年4月に高知市が設置した施設です。運営を「特定非営利活動法人 NPO 高知市民会議」が担っており、ボランティアや市民活動に関する様々な相談や情報の提供、活動に必要な機器の利用や会議室の貸し出しにも応じています。仲間を広げたり、活動のお知らせをする掲示板や団体が利用できるメールボックスもあります。活動の参考になる講座等も開催していますので、お気軽にご活用ください。

### 今後のまちづくりファンド（予定）

審査会・発表会は、どなたでも参加することができます。まちづくり活動に関心のある方の交流の場として、お気軽にご参加ください。場所は、高知市たかじょう庁舎6階大会議室を予定しております。

#### 「まちづくりはじめの一歩」「まちづくり一歩前へ」コース

**2008年度助成事業**  
中間発表会 2009年 1月24日(土)  
最終活動報告書の提出期限 7月14日(火)  
最終発表会 8月1日(土)

#### 「まちづくり大きな一歩(ソフトからハードへ)」コース

**2007年度助成事業**  
最終発表会 2009年 1月24日(土)  
完了検査 2月  
**2008年度助成事業**  
第2次審査書類提出期限 2008年 12月15日(月)  
現地調査 2009年 1月下旬  
第2次公開審査会 1月25日(日)

発行 高知市市民活動サポートセンター

〒780-0862 高知市鷹匠町2丁目1-43 高知市たかじょう庁舎2階  
TEL：088-820-1540 FAX：088-820-1665  
E-mail: npokochi@siminkaigi.com 【URL】 http://www.siminkaigi.com

